

決算

一般会計の歳入・歳出

平成28年度の一般会計決算額は、歳入(町に入ったお金)が77億3,104万円、歳出(町が使ったお金)が74億1,285万円、差し引き3億1,819万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の10億5,700万円を除くと実質収支額は3億7,620万円の黒字となりました。また、歳入歳出に含まれていない実質的な黒字要素となる積立金と、赤字要素となる積立金の取り崩しを含めた「実質単年度収支」は1億4,493万円の赤字となっています。この赤字は、財政調整基金1億4,271万円の取り崩しを行ったことによるものです。

●表①歳入内訳
歳入の一番大きい項目は

●表①歳入内訳

歳入総額	28年度歳入額	説明	前年度比		
歳入総額	77億3,104万円	—	▲14.4%		
自主財源	町税	28億2,554万円	町民税、固定資産税、軽自動車税など	1.7%	
	繰入金	1億9,640万円	基金や特別会計から一般会計に入った金額	6.9%	
	諸収入	2億2,505万円	延滞金や加算金、預金利子、雑入など	▲10.1%	
	分担金	1億5,276万円	受益の程度によって徴収する負担金	▲6.9%	
	使用料	1億3,316万円	町の施設等を利用者が負担した金額	▲3.4%	
	その他	1億8,592万円	上記以外の財産収入や繰越金など	▲56.8%	
	依存財源	地方交付税	18億4,246万円	国税から一定割合で交付されるお金	▲10.4%
		町債	3億7,660万円	町の借金による収入	▲54.4%
		国庫支出金	7億9,858万円	事業実施のため国から交付されるお金	▲15.3%
		県支出金	4億5,703万円	事業実施のため県から交付されるお金	▲31.0%
地方消費税交付金		4億262万円	消費税のうち町に配分されるもの	▲11.3%	
その他	1億3,492万円	上記以外の地方譲与税や交付金など	▲6.7%		

平成28年度の町の決算概要をお知らせします。昨年度中、町にどんなお金が入ってきて、どんな使われかたをしたのかご覧ください。また、現在の町の財政状況についても、国が定める指標に基づいて公表します。

●表②目的別歳出内訳

目的別	28年度歳出額	説明	前年度比
歳出総額	74億1,285万円	—	▲13.6%
民生費	24億9,611万円	児童から高齢者まで福祉全般の経費	1.3%
衛生費	12億1,038万円	健康・衛生的な生活のための経費	▲17.5%
総務費	10億839万円	財産管理など役場運営一般的な経費	▲9.6%
教育費	8億2,587万円	小・中学校など教育関係の経費	▲48.6%
土木費	5億8,349万円	道路、橋、街路整備・改良、町営住宅管理	18.1%
公債費	5億3,820万円	町が借り入れた地方債の償還金	▲11.3%
消防費	2億8,843万円	消防や救急活動のための経費	7.2%
商工費	2億2,643万円	商工業の振興や観光事業などの経費	▲14.9%
農林水産業費	1億1,869万円	農業委員会の運営や農業振興経費など	7.5%
議会費	1億469万円	町議会を運営するための経費	▲8.8%
労働費	1,181万円	復興のための臨時職員雇用などの経費	▲72.7%
諸支出金	36万円	その他の支出金	0.0%
災害復旧費	0万円	災害による被害の復旧のための経費	皆減

町税であり、前年度より4億2,555万円多い28億2,555万円となり、全体の36.4%を占めました。地方交付税は18億4,246万円であり、普通交付税で8億9,858万円の減、特別交付税で2億5,566万円の減により、前年度比10.4%の減となりました。国庫支出金は7億9,858万円、前年度より15.3%の減、県支出金は4億5,703万円、前年度より31.0%の減、町債は3億7,660万円、前年度より54.4%の減で、これらの減については金ヶ瀬中学校屋内運動場の整備工事の完了などにより、これらの事業に対する補助金及び町債が減少したためです。

●表②目的別歳出内訳

歳出の主なもの(目的別)で見ると、全体の33.7%を占める民生費は主に年金生活者等支援臨時給付金や子ども医療費給付対象年齢拡大等により、前年度と比較し1.3%増の24億9,611万円、総務費は前年度に西原集会所改築工事が完了し

平成28年度決算

●表③性質別歳出内訳
次に、歳出を〔性質別〕で見ると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)では人件費において職員数の減により1.2%減の14億7,233万円、扶助費が年金生活者等支援臨時給付金、

たこと、番号制度導入関係費用の減少などにより9.6%減の10億8,339万円、衛生費は仙南クリーンセンター整備事業が完了したことによる、仙南地域広域行政事務組合負担金の減などにより、17.5%減の12億1,038万円、教育費は前年度に金ヶ瀬中学校屋内運動場整備工事が完了したことなどにより48.6%減の8億2,587万円、土木費は公共下水道事業特別会計繰出金の増、町営住宅長寿命化事業などにより18.1%増の5億8,349万円となりました。また、商工費では前年度に地域消費喚起商品券の発行を行ったことなどにより14.9%減の2億2,643万円、労働費では、緊急雇用創出事業の終了により72.7%減の1億1,811万円となりました。

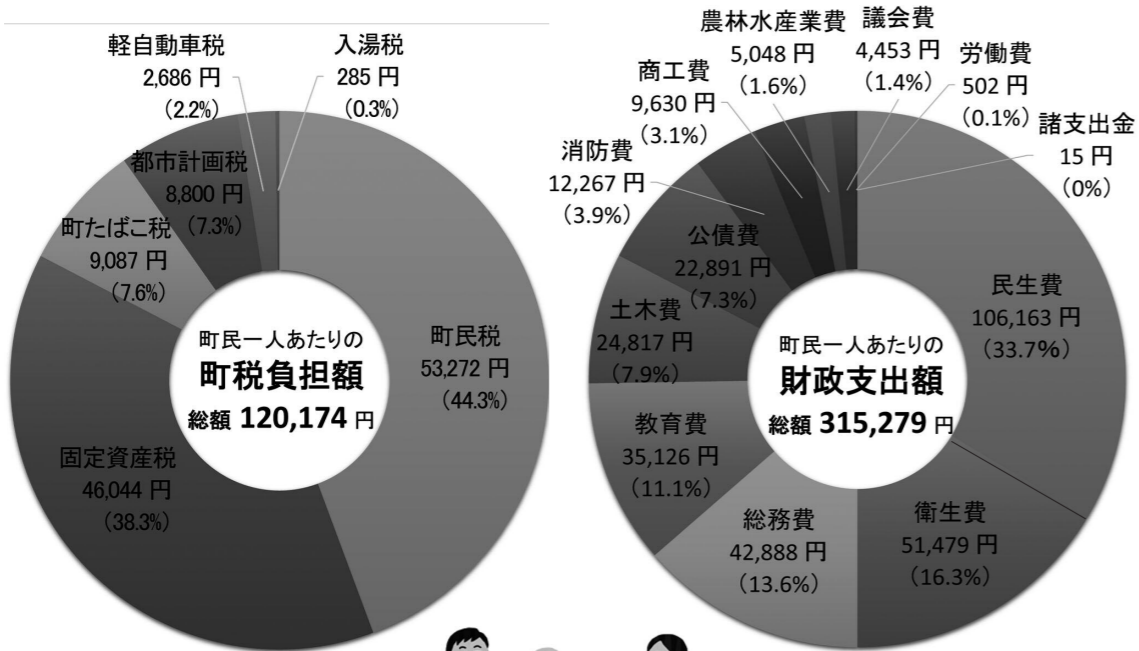
●表③性質別歳出内訳

性質別	28年度歳出額	説明	前年度比	
歳出総額	73億9,710万円	—	▲13.6%	
義務的経費	人件費	14億7,233万円	職員や特別職の給与、共済組合負担金など	▲1.2%
	扶助費	14億740万円	児童・老人福祉など法に基づく援助や教育扶助	7.4%
	公債費	5億3,856万円	地方債の償還金	▲11.3%
投資的経費	普通建設事業	3億8,994万円	道路や学校、庁舎等公共施設の建設事業経費	▲69.3%
	災害復旧費	0万円	災害による被害の復旧のための経費	皆減
	補助費等	11億3,195万円	仙南広域や中核病院負担金など	▲38.6%
物件費	11億3,101万円	消耗品費や委託料など消費的な経費	2.5%	
繰出金	9億284万円	各特別会計への繰出金	16.8%	
積立金	545万円	基金に積み立てるお金	▲93.9%	
維持補修費	3,589万円	公共施設等の機能を正常に保つための経費	▲3.0%	
投資及び出資金	3億4,573万円	中核病院負担金のうち建設事業に係る地方債の元金償還金分など	3,457,200.0%	
その他	3,600万円	上記以外の貸付金など	0.0%	

※上記の性質別歳出内訳は、地方財政状況調査要領に基づく分析数値のため、目的別歳出内訳の額と相違があります。
※投資及び出資金については、平成28年度決算よりみやぎ県南中核病院負担金のうち、建設事業に係る地方債の元金償還分を投資及び出資金に分けることとしたため、前年度比3,457,200%となった。

子ども医療費の給付対象年齢の拡大などにより7.4%の増の14億7,400万円、公債費では前年度までに行った繰上償還による元利償還金の減少により11.3%減の5億3,856万円、義務的経費全体では0.3%増となりました。

投資的経費(普通建設事業費・災害復旧費)では、西原集会所整備事業、総合体育館等の施設の太陽光発電設備設置工事、金ヶ瀬中学校屋内運動場整備工事等が前年度に完了したことにより、69.3%減の3億8,994万円、労働費は緊急雇用創出事業の終了により72.7%減の1億1,811万円となりました。



※平成29年3月31日現在の人口23,512人で算出しています。

育館等の施設の太陽光発電設備設置工事、金ヶ瀬中学校屋内運動場整備工事等が前年度に完了したことにより、69.3%減の3億8,994万円、労働費は緊急雇用創出事業の終了により72.7%減の1億1,811万円となりました。

4万円、補助費等では、仙南クリーンセンター整備に對する負担金等の減により38.6%減の11億3,195万円となりました。